記載例

※祖父「太郎」ほか3体のご遺骨につき、現在の墓地使用者は太郎の長男「一郎」で、改葬許可申請者(=新しい墓地使用者)の太郎の二男の三男「三郎」(孫)が手続きを行う場合

改葬許可申請書

角田市長 殿

令和 8年 1月 15日

申請日を記入。

下記の通り改葬許可を受けたく、墓地、埋葬等に関する法律第五条により申請します。

死亡者の本籍	宮城県角田市角田字大坊４１番地		
死亡者の住所	宮城県角田市角田字牛館１０番地		
死亡者の氏名	角田　太郎　ほか３体　別紙のとおり	性別	(男)・女
死亡年月日	明治・大正・昭和・(平成)・令和　元　年　５　月　１　日		
埋葬の場所	宮城県角田市角田字柳町３５番地１　〇〇寺		
埋葬又は火葬の年月日	明治・大正・昭和・(平成)・令和　元　年　５　月　２０日		
改葬の理由	新たに他の墓地の使用権を取得したため		
改葬の場所	宮城県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号　〇〇霊園		
申請者の住所	宮城県角田市角田字柳町３５番地１		
申請者の氏名	角田　三郎		
死亡者との続柄	二男の三男	墓地使用者との関係	本人・(その他)（ 弟の三男 ）
墓地使用者氏名	申請者と同じ ・(その他)（　角田　一郎　）		

死亡時の住所を記入。不明の場合は斜線を引く。

遺骨が複数体の場合、別紙も記入。

現在のお墓の場所及び名称を記入。自宅保管の場合は自宅の住所を記入。

日にちが分からない場合は「不明」と記入。

新しいお墓の場所及び名称を記入。

死亡者から見た申請者との関係性を記入。※本例は改葬許可申請者「三郎」が死亡者「太郎」の孫(二男の三男)の場合

現在の墓地使用者から見た申請者との関係を記入。※本例は改葬許可申請者「三郎」が現在の墓地使用者「一郎」の弟の三男である場合。

墓地使用者が改葬前と変わらない場合は「申請者と同じ」に〇を。墓地使用者が改葬後変わる場合は「その他」に〇をつけ、現在の墓地使用者の氏名を記入。

上記の埋葬(埋蔵、収蔵)の事実を証明します。

令和７年１２月２５日

墓地管理者　住所　宮城県角田市角田字柳町３５番地１

墓地名称　宗教法人　〇〇寺

代表者（住職）氏名　住職　柳町　一夫

〇〇寺 住職 柳町一夫

※この申請書は遺骨の埋蔵・収蔵証明書を兼用しています。
　別紙に墓地管理者の発行する証明書を添付してもさしつかえありません。
※現在埋葬している墓地の使用者と改葬の申請者とが違う場合は、墓地の使用者の承諾書が必要となります。

この欄に現在の墓地管理者が記入・押印してください。

申請者の電話番号　０９０（××××）××××

自宅・携帯・勤務先（　　）

平日昼間に連絡可能な番号を記入。